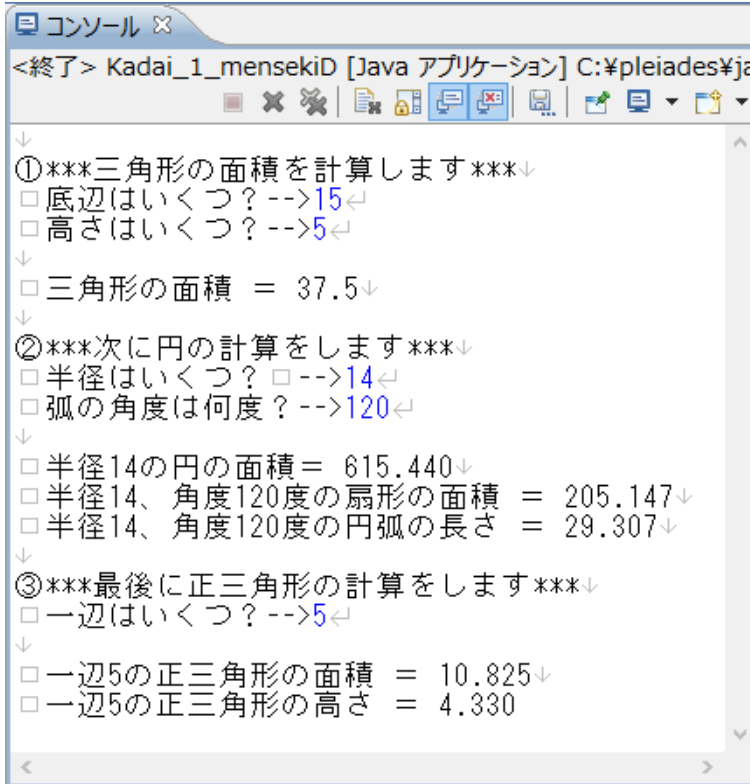


## 課題 1 面積・円弧の計算

下図のように値を入力して、三角形と円の計算をするプログラムを作成せよ。数値は整数で入力すること。①の結果は小数第1位まで、②と③の結果は小数第3位まで表示させること。

ファイル名 `xxP21xxx_kadai1_Area.java` (先頭は学籍番号)



```
<終了> Kadai_1_mensekiD [Java アプリケーション] C:\¥pleiades¥ja
↓
①***三角形の面積を計算します***↓
□底辺はいくつ? -->15←
□高さはいくつ? -->5←
↓
□三角形の面積 = 37.5↓
↓
②***次に円の計算をします***↓
□半径はいくつ? □-->14←
□弧の角度は何度? -->120←
↓
□半径14の円の面積 = 615.440↓
□半径14、角度120度の扇形の面積 = 205.147↓
□半径14、角度120度の円弧の長さ = 29.307↓
↓
③***最後に正三角形の計算をします***↓
□一辺はいくつ? -->5←
↓
□一辺5の正三角形の面積 = 10.825↓
□一辺5の正三角形の高さ = 4.330
```

【ヒント】平方根の求め方

(書き方)

`Math.sqrt(値または式)`

(例)  $\sqrt{3}$  を求める場合

```
double a;
a=Math.sqrt(3.0);
```

## ■課題の提出方法

提出するフォルダ `xxP21xxx 文教一郎` (学籍番号と氏名)

下記2つのファイルをフォルダに保存して、フォルダごと提出すること。

- ①課題1のプログラム ( `xxP21xxx_kadai1_Area.java` )
- ②下記のテキストファイル ( `xxP21xxx_kadai1_console.txt` )

(テキストファイルの内容)

```
①***三角形の面積を計算します***
```

```
底辺はいくつ? -->xxx
```

```
高さはいくつ? -->xxx
```

```
三角形の面積 = xxxx
```

```
②***次に円の計算をします***
```

```
:
```

(課題1の結果を貼り付ける)

サンプル画面とは異なる値で実行した結果を付けること

※ 提出物が明らかなコピーの場合は、両者とも採点の対象としない